



阿賀野市立 京ヶ瀬中学校

～ <http://kyogase-jhs.agano.ed.jp/> ～

〒959-2123
阿賀野市姥ヶ橋739
TEL.0250-67-2004
27-10号
平成28年1月20日発行

卒業・進級の準備を進めよう

校長 長谷川 敦

保護者、地域の皆様には穏やかな天候の中、平成 28 年申年を迎えられたことと存じます。今年も京ヶ瀬中学校の教育活動へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、3 年生はいよいよ志望する高等学校への進学に向けて、面接や学力検査を受ける時期となりました。それぞれの希望の実現に向けて、これまでの学習の成果を最大限に発揮してもらいたいと思っております。また、京ヶ瀬中学校の3 学期は「卒業期・進級準備期」として、3 年生にはこれまでお世話になった3 年間を感謝の心で卒業の準備をし、1・2 年生には、お世話になった3 年生に感謝して送り出し、自分たちの進級準備をする時期として位置付けています。学校も、各学年も、この1 年を総括し、次年度を展望する大事な時期に入ってきました。

ところで、本県の中学校卒業生数は、昭和 38 年春の 70,499 人をピークに、減少傾向が続き、平成 27 年春には 21,693 人となっているそうです。一方、高校進学率は、平成 16 年以降、毎年 99 %を超え、中学校卒業生のほぼ全員が高校に進学する状況にあります。今後とも子どもの数が減少していく中で、高校入学者の減少が見込まれています。

昨年末には県教育委員会から、中長期的なビジョンである『県立高校の将来構想—中長期を見据えた魅力ある学校づくり—』が出されました。この構想は、これからの高校教育の充実を目指す魅力的な学校づくりの方向性をまとめたものです。(この構想の概略は2 ページに掲載しました。)

このように高等学校が変革されるのは、昨今の変化の激しい時代においては、現在求められている能力ではなく、むしろ、多くの若者(現在の生徒)が社会を支える存在となる、「将来」の社会環境から導き出した人材像が「求められる能力」として必要となるからだと思います。

例えば、次のような能力が求められるのだそうです。

- ・ 専門知識を学ぶための「**基礎的な知識**」を徹底的に理解していること。
- ・ 多様な地域で、様々な人々と一緒に仕事をするための「**グローバルな感覚**」の素質があること。
- ・ (開発から商品化・サービスまでの)一連のプロジェクトを遂行する「**マネジメント力**」があること。
- ・ 学んだ知識を現場に適用し有効に活用していくための能力として、「**課題発見・解決力**」、「**コミュニケーション能力**」等、いわゆる「**社会人基礎力**」があること。

のぞいてみよう
未来の「仕事」
ベネッセ
「未来の仕事図鑑」より



「将来構想」における高校のすがた

県教育委員会は、社会状況の変化、中学校卒業生数の減少及び生徒の多様なニーズへ対応するため、これまでの高等学校の普通科系、中高一貫教育校、専門学科系、総合学科、定時制という分類を、将来、新潟県を支える有為な人づくりや、これからの高校に求められる役割を踏まえて以下の5つのタイプとして位置付けることとしましたので紹介いたします。下表の平成30年度の構想は、既に新聞でも発表されておりましたし、平成31年度以降も高等学校の姿が大きく変わっていくこととなります。下表は近隣のエリア①とエリア②のみ掲載しました。

◇ 専門分野を探究する高校

専門分野を探究し、社会の第一線で活躍する人材を育成する高校です。本県の専門教育における中心的な役割を担い、地域の産業界や大学などの高等教育機関との連携を図り、高度な専門的知識や技術・技能を身に付けさせたいと考えます。また、世界に誇ることができる日本の技術を広く海外に発信できるよう、グローバルな視点をもって、産業界をリードする人材の育成に努めていきます。

◇ 学科総合型の産業高校

複数の専門学科からなり、学科の枠を越えた学習も可能な高校です。農業・工業・商業などの専門分野における知識や技術・技能を身に付けることに加え、他学科の学習も選択できる仕組みにより、学科横断的な学習が可能になると考えます。農業分野における6次産業化に対応できる人材や、工業分野における企業経営のノウハウを持った起業家など、新たなニーズを捉え、産業界で活躍できる人材の育成に努めていきます。

◇ 大学進学を重視した学究型の高校

生徒のほぼ全員が大学に進学する高校です。高校卒業後も、より高いレベルの課題に挑戦し、主体的に研究していく人材を育てます。そのため、確かな学力や幅広い知識を身に付けさせることはもちろん、社会のグローバル化が加速する中、語学力とコミュニケーション能力の向上を図るとともに、我が国や諸外国の文化に対する理解を深め、県や国のリーダーとして社会の様々な分野で活躍できる人材の育成に努めていきます。

◇ 総合選択制の高校

普通科目とともに、専門的な知識や技能を学ぶ科目を選択できる高校です。生徒の多様な進路希望や興味・関心などに対応するため、体験的な学習や専門的な学習が可能となるコースなどを設置します。なお、専門的な知識や技能を学ぶにあたっては、地元産業界と連携し、インターンシップやデュアルシステムなどを積極的に進め、地元への就職の他、大学や専門学校への進学も目指し、地域の産業を支える人材の育成に努めていきます。

◇ エンカレッジ(注)の高校

生徒の様々な学習歴や適性に柔軟に対応する高校です。単位制による定時制課程や通信制課程の高校が、このタイプにあたります。生徒の多様化が進む中、特別な支援を要する生徒や、学び直しを必要とする生徒に対する教育へのニーズがますます高まっています。きめ細かな学習指導や相談体制の充実を図るとともに、キャリア教育等とおして、一人一人の個性を尊重し、豊かな人間性や社会性を育むことに努めていきます。

(注) 英語の encourage(勇気を与える、励ます)をイメージした学校像を表しています。

再編整備の概要(エリア①) <新発田市、村上市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村>

平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 西新発田高校をエンカレッジの高校に改組する。 新発田南高校豊浦分校を募集停止とする。
平成31年度 ～平成34年度	<ul style="list-style-type: none"> 普通科系の高校を総合選択制の高校に改組する。 メディカルコースを設置する。
平成35年度 ～平成39年度	<ul style="list-style-type: none"> 普通科系の高校と総合学科の高校を統合し、総合選択制の高校を設置する。 専門学科系の高校を統合し、学科総合型の産業高校を設置する。
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した特色ある高校を検討する。 医療専攻の設置を検討する。

再編整備の概要(エリア②) <新潟市、三条市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、阿賀町>

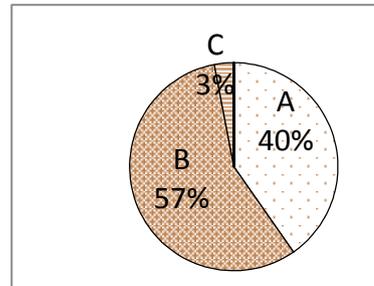
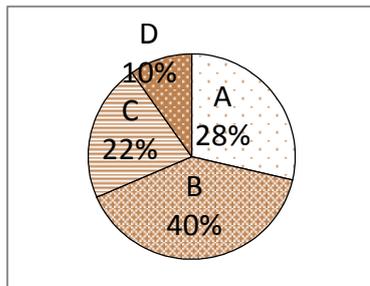
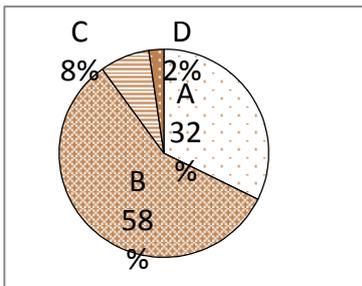
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 阿賀黎明中学校を募集停止とする。
平成31年度 ～平成34年度	<ul style="list-style-type: none"> 普通科系の高校をエンカレッジの高校に改組するとともに、通信制課程を設置する。 普通科系の高校を統合し、総合選択制の高校を設置する。 普通科系の高校と専門学科系の高校を統合し、専門分野を探究する高校を設置する。 メディカルコースを設置する。
平成35年度 ～平成39年度	<ul style="list-style-type: none"> 普通科系の高校を統合し、総合選択制の高校を設置する。 普通科系の高校と総合学科の高校を統合し、総合選択制の高校を設置する。 専門学科系の高校を統合し、学科総合型の産業高校を設置する。
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した特色ある高校を検討する。 先端産業を学ぶ学科の設置を検討する。

2学期の学校評価

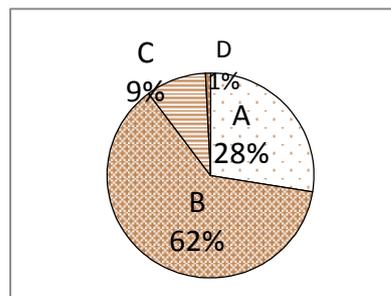
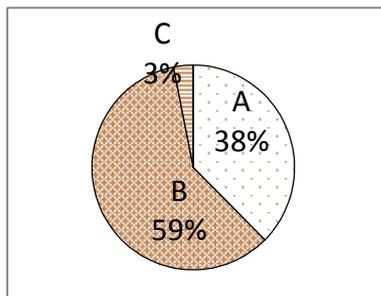
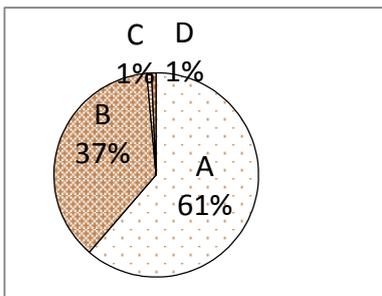
学校では、次年度の教育計画を策定するため学校評価を実施しています。昨年末（12月）に実施しました保護者の皆様へのアンケートについて、その結果を報告いたします。

【A：あてはまる B：どちらかというにあてはまる C：どちらかというにあてはまらない D：あてはまらない】

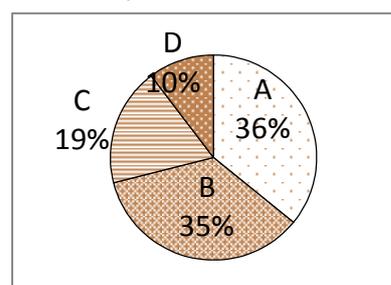
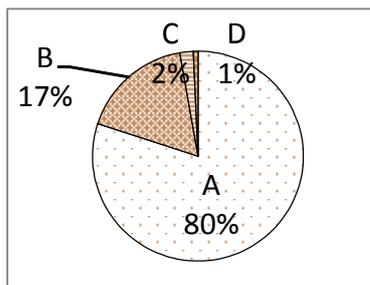
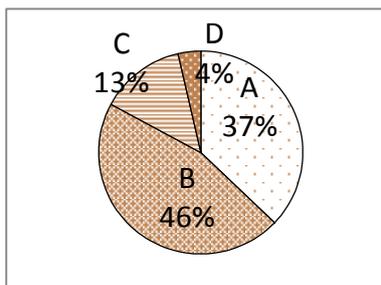
- ① 学力向上に向けた指導や取組を十分にしている。 ② 家庭で時間を決めて計画的に学習している。 ③ 温かい人間関係づくりを意識した「思いやりの心」「協力性」を育む取組が行なわれている。



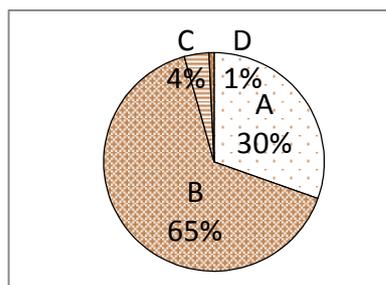
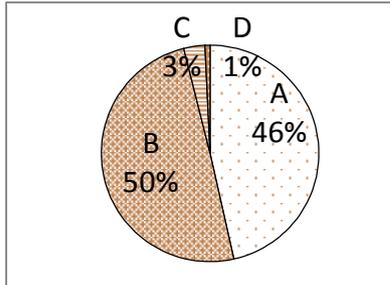
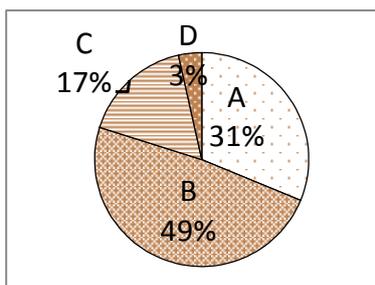
- ④ 生徒会がよりよい学校づくりに役立っている。 ⑤ 職員は生徒や保護者の相談・要望に適切に応じている。 ⑥ 体力の向上や健康維持の取組を十分行なっている。



- ⑦ 体力が十分についている。 ⑧ 朝食をしっかり食べている。 ⑨ 規則正しい就寝時間に心がけている。



- ⑩ 家庭で将来について親子で話したり、考えたりしている。 ⑪ 体験活動は充実していた。 ⑫ たより、HP、OS等で学校の様子がよくわかる。



これらの結果を分析し、来年度の教育計画の策定に反映させていただきます。

Go to the next !

生徒指導主事 齋藤 佑
生活期が変わりました

「卒業準備・進級準備期」です

「自分の道を考えよう・深めよう」

- ・ 新しい気持ちで新年の抱負を固めよう
- ・ 規則正しい生活を送り、健康の保持に努めよう
- ・ 1 年を振り返り、年度のまとめをしよう

**「当たり前」のことを「当たり前」に
再度意識して今学期に臨もう**

新しい年を迎え、生徒たちは新鮮な気持ちをもって登校してきました。今学期は「まとめの学期」と捉え、学校生活を送ってもらいたいです。

冬休みは短期間でしたが、正月行事等で生活習慣が乱れがちだったと思います。学校生活のリズムに早く戻るように、日常生活を立て直すことが大切です。

1、2年生は進級に向け、具体的な目標を設定して学校生活を送ってください。また、3年生は高校受験を視野に入れた学校生活となります。進路実現に向けて、学校生活を送ることができるよう指導していきます。

特に、服装・頭髮に関しては、卒業式や進路と絡めた指導をいたします。ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

3学期の始業式に「当たり前」のことを当たり前」に再度確認して生活しよう。」と話をしました。

京ヶ瀬中学校はよくなったとお褒めの言葉をいただくと本当にうれしいです。うれしいです。これも、卒業していった先輩方、また現在に至るまで生徒一人一人が、「学校をよくしていこう」という気持ちがあったからです。それは、「当たり前」のことを「当たり前」にすることの継続があったからです。

ここ最近、教務室前を騒がしく歩いている人たちに声をかけること、あめの殻が落ちて指導する機会があったこと、不要物を持ってきたことについて残念なことがあり、指導したことがありました。

「このくらいいいや」「みられていないからいいや」といった「自分さえよければいいや」といった意識があるのかもしれない。

また、「いわれていないから」「わからなかった」ということをいう人もいます。とても残念です。

京ヶ瀬中学校の教育目標には「正しく判断し、自主的に行動する生徒」とあります。「正しく判断する」ということはどういうことでしょうか。「自主的に行動する」ということはどういうことでしょうか。「人に言われてなくも善悪の判断ができ、自分で正しい行動ができる」とことなのです。

もう一度、自分の事を考えてみませんか。「考えて行動する事」が大切です。「正しく判断し、自主的に行動しています」と胸を張って生活していきたいですね。

1月の生徒の様子について

○ うれしかったこと

- ・ 大きな事故等報告はなく、新学期を迎えることができました。
- ・ 全校集会時等、話を聞く姿勢がとても良い姿勢で聞けています。

△ 残念だったこと

- ・ 冬休みの課題が期限内に終わらない人がいます。
- ・ 内履きで外に出て雪遊びをしていた人がいました。

(指導済み)

- ・ 生徒玄関前にあめのからが落ちていました。

(指導済み)

登下校時、あめ・ガムを含め飲食は禁止です。全体に指導しました。

暖かい格好で登下校を

登校時、制服だけでもしくは制服にマフラーだけで登校してくる生徒が見られます。この時期登下校時は特に気温が下がり、冷え込みます。学生服の下に余分に着たり、防寒着で調節するように指導いたしました。

交通安全について(再度お願いします)

- ・ **学校にお子様を送迎の際は、必ず村体前で乗降をお願いします。**

(校門前や校地内での乗降は大変危険です)

先月の学校だよりでもお伝えしました。ご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

しかし、再度お願いです。早朝時等も含め、校門前で停車をして生徒が乗降している状況が見られます。交通事故防止のためお願いですので、何卒ご理解、ご協力をお願いします。

